

秋空のもと収穫の喜びを体験 一公民館の体験学習一



8月中旬のそば植え体験から65日たった10月19日(日)、児童や保護者などが参加し、そばの収穫を体験しました。

実ったそばを、大事に残さず全員で収穫し、2時間の作業を終えてにぎやかな笑い声が響きました。

最後となる次回は石臼でのそば粉づくりやそば打ち、食味体験して食文化を学びます。

帝釈峡で秋の自然体験

11月5日(土)、油木地域5つの公民館と子ども居場所づくり実行委員会の主催で、「神石高原町の四季を楽しむ会」秋の自然体験が行われました。

町内外の子どもや大人約30人が参加し、吉川知之さんと中西正一さんの案内で、帝釈峡の紅葉や植物を観察しながら歩きました。

帝釈の川に生息する「川真珠貝」の貝殻を見つけた子どもたちは、すばらしい発見と教わり、大事そうに持ち帰っていました。



特産農産物で早食い競争 トマト丸かじり選手権



真っ赤なトマトをロー杯にほうばる参加者、そして盛んな声援…。

10月16日(日)

「とよまつふれあいフェスティバル」で開催された、「第1回トマト丸かじり選手権」に町内外から男性20人、女性19人がエントリーし早食い競争にチャレンジしました。

この競技は、町特産完熟トマトを、「一般の部1kg」「女子の部600g」をどれだけ早く食べるかを競う競争で、今回はじめて開催されました。

優勝一般の部は藤原茂さん(上豊松)タイムは「1分16秒84」、女子の部は妹尾敦美さん(上豊松)タイムは「59秒50」でした。 関連記事 P 6



野球で交流を深めよう!!

11月5日(土)豊松山村広場で少年野球の交流大会(主催:豊松ピレック)が開催されました。この大会に町内の少年野球の5チーム(約100人)が参加し、指導者や保護者の温かい応援の中、楽しい一日を過ごしました。少年野球チームでは、選手を募集されています。スポーツを通じての地域間交流が今後も盛んになれば良いですね。



神石地区

こりゃあ ええのう ～ふれあい神石まつり農産物品評会～

10月30日(日)に開催された、ふれあい神石まつりの中で行われた農産物品評会に、今年も思わず「こりゃあええのう」と言いたくなるような農産物が多数出品されました。

品評会では、農産物の品質や見映えなどを総合的に評価し優秀賞を選定しています。

今回の出品総数 83 点の中から優秀賞に選出された農産物および生産者の方々は次のとおりです。 関連記事 P 6



白	菜	小桜	利之	(相渡)
た	ま	ね	ぎ	伊勢村正治
栗				横山シズエ
り	ん	ご	秋中	良二
自	然	薯	池田	孝
				(草木)

和気あいあい ～牧自治振興会と中国人研修生との交流会～

10月20日(木)秋のさわやかな日差しの中、「ながの村」で研修中の中国人研修生 31名と秋山軍次牧自治振興会会長ほか牧地域住民 20名の総勢 52名での交流会が牧グラウンドゴルフ場で行われました。

言葉が通じない事を忘れさせるような、和やかな雰囲気の中でグラウンドゴルフを楽しみ、終了後には手作りの柏餅が振る舞われました。

地域としての交流は牧自治振興会が初めての試みであり、和気あいあいとした雰囲気での交流が行われたことは非常に意味深いものでありました。



木津和自治振興会 「まるごと防災の日」開催

10月9日(日)、木津和自治振興会では、「まるごと防災の日」と題して、防災訓練を実施されました。

自治振興会・福祉会(地区社協)など地域の各団体が組織する実行委員会が主催されたもので、当日は、地震を想定した訓練で161人が訓練に参加されました。

消防署による初期消火訓練、救助訓練(担架による搬送訓練)のほか、自衛隊OBの方の指導による避難用テントの設置訓練、飯ごう炊飯の実践訓練、日本赤十字から講師を招いて、救急救命講習が行われました。

木津和自治振興会では、「今回の訓練の反省をもとに緊急時に地域としてどう行動するか、今後も訓練などを行い町の防災計画とも連携した行動計画も検討していきたい。」と話されています。



少年野球教室開催

11月27日(日)、12時30分より三和野球場(神石高原町高蓋:切田グラウンド)で町内小中学生を対象に少年野球教室が開催されます。【雨天の場合は三和中学校体育館】

広島東洋カープの黒田選手、嶋選手、木村選手、横山選手を招き、実技指導やサイン会などを計画していますので、ぜひご来場ください。



黒田選手



嶋選手



木村選手



横山選手

TOP
&
NEW
JINSEKI

三和地区